

令和元年度 鹿児島県看護協会 鹿児島地区第5回研修会

テーマ：アドバンス・ケア・プランニング
～患者の意向を尊重した医療・ケアをどのように実践するか～

日時：令和2年1月11日（土）

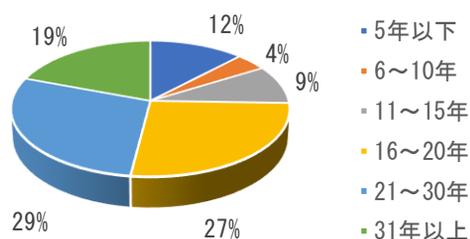
講師：江口 恵子先生（社会医療法人博愛会相良病院 緩和ケアセンター）



参加：99名

回収：98名

受講者の実務年数



勤務する施設	構成割合 (%)
病院	78.7
医院(クリニック)	2
訪問看護ステーション	7.1
看護学校等	1
介護保健施設	1
福祉施設	5.1
その他	3.1
無回答	2
総計	100

アドバンス・ケア・プランニング
(Advance Care Planning:ACP)

《研修会に参加しての感想》

- 実際の事例を通しての内容であったためわかりやすかった。何を大切にしないといけないのか伝わった。
- 今回初めてアドバンス・ケア・プランニング（ACP）についての研修を受けた。現在実際に癌患者を受け持っており、ACPについて興味があった。ACPを行う事で患者さんも自分の気持ちに気付く事がある事を知った。これからの実践に活かしていこうと思う。
- 寄り添うことの大切さを大変に感じる研修でした。論理的に考え研究を活用することも大変学びました。
- 緩和に近い患者さんを受け持っていて、今家族と告知するしないの段階で迷いがあるところでした。今日の講義を通して、家族にも良い言葉がかけられるようにし、自分の立場から患者・家族に最善のケアが出来ればいいなと思いました。
- リビング・ウィルからACPという患者の意思をより尊重するために、関わりのある人達も話し合うという体制への変化を学べて良かったです。

《研修会を通して》

病床機能分化が進むことにより、対象者は療養の場が自宅から病院、病院から介護施設と刻々と変化する中においても、継続的なケアが提供されるようにすることが重要であることを学ぶことが出来ました。アドバンス・ケア・プランニングについて、地域での普及活動と同時に自施設での取り組みを強化していく必要性を感じました。

医療・ケアチームの中で、看護職は療養生活支援の専門家として、苦痛、不安、苦悩等の患者または利用者等の抱える問題にいち早く気付き、尊厳を守りながら、その人らしく最期まで人生を全うできるよう支援するための看護を提供することが求められている。日頃のジレンマに対し振り返り考える習慣をもち、十分にコミュニケーションをとって対象者の意向を尊重した医療・ケアを実践出来るようにして行きたいと思えます。

教育委員会 上林山 小百合



入会してポイントを貯めよう！
当日、入会も出来ますよ～(*_*)／



入会のご案内：<http://k-kango.jp/annai/nyukai/>